



皆さんおうち生活を楽しんでいますか？ 今回は親子で楽しめる遊びを紹介したいと思います。お家時間が多い今だからこそやってみよう！

<小麦粉粘土> ※小麦アレルギーの方は米粉でやってみよう。

口に入れても安全に遊べる食品を使った粘土遊び。子ども達の脳の成長にはたくさん五感を刺激し、触る事、見る事、食べる事、聞く事、匂いをかぐ事などの遊びが大切だと言われています。粘土は触るあそび＝触覚を刺激する遊びです。子ども達の想像力を育て、柔らかな触り心地が気持ちよく楽しさや、集中力が続くあそびです。大人と粘土を介して遊ぶことで、子どもへの声掛けや遊びの幅が広がり、親子で楽しい時間を過ごせると思います。

☆作る時の注意点☆

- 汚れてもいい服装でやりましょう。
- 拭き取れる床の上で遊ぶか下がじゅうたんの場合はシートなどを敷くといいです。
- テーブルや床にこびりついた小麦粉粘土は、濡れた雑巾で拭きましょう。
- 手についた粘土は軽くこすり洗います。
- 粘土が硬くなってしまったら、濡れ雑巾でしばらく包んでおくと、柔らかくなります。

☆粘土の保管方法☆

- 密閉できるタッパーやビニール袋に入れて、冷蔵保存してください。
(3日ぐらい大丈夫です。塩を多めに入れると5日ぐらいはもつようです)

おすすめ絵本

ピン・ポン・バス

竹下文子・作 鈴木まもる・絵



「ピン・ポン・バス」作 竹下文子 絵 鈴木まもる 繰り返し見たくなる、大人気の乗り物絵本！

バスが駅前から発車して、「ピンポン」とお知らせが鳴ると、お客さんを乗せて降ろしてまた進みます。バスが走る街並みや乗客たちが織り成す小さなドラマ、言葉のない部分も絵で丁寧に描き込まれているので、ページの隅々までじっくりと見たいところ。パタパタとめくってしまっただけではもったいないですね。乗り物が好きな子、バスでのお出かけができない今、バスに乗ってお出かけ気分を味わってみよう！

この絵本の絵を描いている鈴木まもる先生は、乗り物を題材にした作品が有名ですが、鳥の巣研究者でもあり生き物を題材にした絵本も素敵ですよ♥人間の知らない不思議な力が動物にはあって、生きて行動しているその不思議さを感じてほしいと言っています。

幼稚園にも鈴木先生の絵本がたくさんありますよ！！お楽しみに♥

<小麦粉粘土の作り方>

<材料>

- ・小麦粉：300g～500g
- ・水：適量
- ・サラダ油：ほんのひと垂らし
- ・塩：少し（入れると傷みにくくなる）
- ・食用色素（食紅）：お好みで（綺麗に色が付きカラー粘土になります）

1、小麦粉に塩を少し入れます。

※材料を入れる順番は、前後しても構いません。



2、サラダ油をほんの少し入れます。

※入れなくても出来ますが、粘土がよくまとまります。



3、水をいれます。

※様子をみながら、ちょうどよい柔らかさまで入れてください。



4、出来た粘土をいくつかに分けます。



5、食用色素（食紅）で色を付けます。

※あらかじめ水に色を付けて混ぜると時短になります。



6、完成 たくさんこねて遊ぼう!



出来上がった粘土同士を混ぜてみると、いろいろな色が作れるよ！どの色を混ぜるとどんな色が出来るかな？